

わたしたちは、予防医学を通じて
人々の「生涯健康」「健康寿命の延
伸」をめざし、健康と福祉の向上に
努めることにより、社会に貢献し
てまいります。

よぼう医学

THE NEWS OF HEALTH SERVICE



— 今月の主な紙面 —

- (1面) ● 職場におけるメンタルヘルス対策
第257回ヘルスケア研修会
- (2・3面 (見開き))
 - 話題 人間ドックの弁当を使った食の情報提供の試み②
受診者アンケートの結果から
 - 政府の成長戦略と「健康経営」
 - 連載 健康づくり・健康増進を支援するページ
健康相談ビフォー・アフター 第16回:保健師/
管理栄養士/健康運動指導士からのアドバイス
- (4面) ● Let's Join! あなたに知ってほしい
乳がん検診の大切さ ピンクリボン in 東京2014
 - 新刊紹介
『今すぐできる! 血糖値を下げる40のルール』
 - 連載 予防医学相談室より 第11回

表 職場改善を成功させる6つのポイント

1. トップダウンによる一方向な対策ではなく、
参加型の対策を行う
2. スモールステップ方式により、実施可能な活動から
積み上げてゆく対策を行う
3. 職場の持つ「強み」に注目し、強化する対策を行う
4. 問題追求型でなく、目標志向型の対策を行う
5. 短期的な視点だけでなく、長期的な視点を持つ
6. 個人的アプローチも共に重視する

「職場改善ヒント集」などを提示しながら、具体的な改善の進め方にも言及した。最後に吉川副所長は、職場環境の改善を成功させる6つのポイントを示し(表)、「心の健康づくりの中に職場環境の改善を位置づけて進めていくことは、行政のニーズでもあり、職場のニーズでもある。科学的根拠に基づいたメンタルヘルス対策ガイドライン」なども参考にしたり取り組んでいただきたいと思います。

個人情報の取扱いについて

日頃より、東京都予防医学協会の機関紙「よぼう医学」をご愛読くださりありがとうございます。本会では、現在「よぼう医学」を送付させていただいている皆様について、送付に必要な情報(名前、住所、所属、役職など)を送付名簿として保持しております。これらの個人情報の収集、保存、利用につきましては、本会の個人情報保護方針に基づき、厳重な管理のもとに運用しております。その上で今後も継続して送らせていただきたいと思います。送付名簿から削除を希望される場合には、お手数ですが、広報室(電話 03-3269-1131)までご連絡ください。

吉川副所長は、まず、1984年に精神障害が初めて労災認定されてから、今回の法改正に至るまでのわが国の

メンタルヘルス施策の動きについて解説した。そして、今回の法改正でストレスチェックが義務化され

精神障害の労災認定件数が年々増加する中、6月に公布された「労働安全衛生法の一部を改正する法律」に「ストレスチェック制度の創設」が盛り込まれた。一方、近年ではメンタルヘルス不調の1次予防としての職場環境改善の取り組みが、健康状態の改善を促すという科学的根拠も蓄積されている。こうした中、9月24日に東京・千代田区で開催された第257回ヘルスケア研修会(主催・健康管理コンサルタントセンター、本会)では、『科学的根拠に基づくメンタルヘルス対策ガイドライン(職場環境等の評価と改善の浸透・普及編)』の分担研究者でもある労働科学研究所の吉川副所長(写真)を講師に招き、「ストレスチェック義務化に向けて―職場改善につなげるために」をテーマに講演を行った。



「うつ状態の早期発見ではなく、作業環境のよう

職場の心理的ストレスの大きさを測定すべき」といった

「職場におけるメンタルヘルス不調に効果的であると

「職場環境の改善がメンタルヘルス不調に効果的であると

「職場環境の改善がメンタルヘルス不調に効果的であると

「職場におけるメンタルヘルス不調に効果的であると科学的根拠は以前から蓄積されていたが、特にここ最近、職場環境の改善、すなわち「心理社会的リスクを職場で適切にマネジメントすることでストレスが少なくなる」ということが確認され、ヨーロッパでは現在、先進的な取り組みがなされている。職場環境の改善を求める「職場へのアプローチ」という2つの視点である」との見解を示した。

「職場環境」の4点をあげた。その上で、「職場環境の改善による1次予防では、広い視野から多領域の良好事例に学び、心理的、身体的な負担を軽減して、働き方をよりよくしていく、職場や組織の取り組みを進めることが大切だ」と訴えた。

ストレスチェック義務化に向けて 職場環境の改善につなげるために

職場におけるメンタルヘルス対策 第257回ヘルスケア研修会

リスクの評価と改善を職場が担うのが現代の国際潮流であり、社員が生き生きと働ける職場づくりは企業の社会的責任である」と述べ、その重要性を指摘した。さらに、職場環境の改善を行う際に持つべき視点として、上司のリーダーシップや同僚のサポート、対人関係といった「人間関係相互支援」、騒音や温湿度、レイアウトや設備などの狭義の「職場環境」、相談窓口やキャリア形成、公正な人事評価などの「安心できる職場の仕組み」、仕事のやりがいや役割の明確性、時間的な制限も含めた「仕事の進め方」の4点をあげた。

健康管理相談をお引き受けします

当センターの会員が事業所、学校、各種団体の健康管理をアドバイスいたします。

担当：江崎良晴 三輪祐一

お問い合わせ・
ご相談は事務局まで
(予約制)

健康管理コンサルタントセンター
事務局 東京都新宿区市谷砂土原町1-2
(公財)東京都予防医学協会
電話 03-3269-1141

送付先の変更・中止について

送付先の住所変更・購読中止の場合には、変更内容を明記の上、本会広報室までお知らせください。

Eメール
thsa-koho@msj.biglobe.ne.jp
FAX 03-3269-7562

お電話(03-3269-1131)でも承っております。

話題

受診者アンケートの結果から

人間ドックの弁当を使った食の情報提供の試み②
本会健康増進部管理栄養士 鶴田浩子

本会では、2013年度からの参加の有無にも傾向の比較を行った。比較を行った。

「ヘルシー惣弁当」を用いた食の情報提供の試みの有用性を検討するために、アンケート調査を実施した。

調査は、2013年5月20日から7月31日の間に本会の人間ドックを受診した1820人のうち、弁当を喫食し、アンケートに回答した1449人(回収率79.6%)。男性855人、女性594人。不明18人を対象に、集計結果から回答者全体の傾向を分析すると共に、集団指導

不参加の理由として最も多かったのは「知らなかった」35人(4.6%)で、「時間がない」27人(3.7%)、「食事や健康について振り返るよい機会」「待ち時間の有効活用」という結果となった。

「食の目安として参考になった」1368人(94.4%)が、「1食の目安として参考になった」1188人(88.4%)が、「1週間(約10日間)の目安として参考になった」と回答した。参加者の満足度の高さがうかがえた。

また、「こうした企画のありたいと思う」と回答した人は、9人(69.6%)が、「受診した回数が増える」と回答している。その理由として「

不参加の理由として最も多かったのは「知らなかった」35人(4.6%)で、「時間がない」27人(3.7%)、「食事や健康について振り返るよい機会」「待ち時間の有効活用」という結果となった。

「食の目安として参考になった」1368人(94.4%)が、「1食の目安として参考になった」1188人(88.4%)が、「1週間(約10日間)の目安として参考になった」と回答した。参加者の満足度の高さがうかがえた。

また、「こうした企画のありたいと思う」と回答した人は、9人(69.6%)が、「受診した回数が増える」と回答している。その理由として「

不参加の理由として最も多かったのは「知らなかった」35人(4.6%)で、「時間がない」27人(3.7%)、「食事や健康について振り返るよい機会」「待ち時間の有効活用」という結果となった。

「食の目安として参考になった」1368人(94.4%)が、「1食の目安として参考になった」1188人(88.4%)が、「1週間(約10日間)の目安として参考になった」と回答した。参加者の満足度の高さがうかがえた。

また、「こうした企画のありたいと思う」と回答した人は、9人(69.6%)が、「受診した回数が増える」と回答している。その理由として「



「アンチエイジング」をテーマとした2014年度の弁当。人間ドック受診者の声を参考にメニューを考案した

「今回のような企画のある人間ドックを受けた」という人が、参加者の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「今回のような人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「今回のような人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「今回のような企画のある人間ドックを受けた」という人が、参加者の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「今回のような人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「今回のような人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「今回のような企画のある人間ドックを受けた」という人が、参加者の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「今回のような人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「今回のような人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

政府の成長戦略と「健康経営」

わが国では、少子高齢化が現実のものとなり、それに伴う医療費、介護費の増加が大きな社会問題となっている。このため、こうした状況を一刻も早く改善し、将来にわたって持続可能な社会を構築していくことは喫緊の課題である。9月17日、東京・文京区で開催された「2014シンポジウム」政府の成長戦略で進める健康経営「健康経営を促進する産官学連携」運営する(主催 東京大学政策ビジョン研究センター、健康経営研究ユニット)では、国が進める「日本再興戦略」の中に位置づけられた「健康経営」に関する議論が行われ、わが国における今後の疾病予防と健康への方向性が示された。

シンポジウムでは、主催者ら、「医療費・薬剤費がかなり増加している。このままでは、国の財政が持続不可能になる」と指摘し、健康経営の推進が喫緊の課題であるとしている。また、データヘルス計画を推進する上で、健康経営の推進が重要な役割を果たしていることを指摘し、健康経営の推進が喫緊の課題であるとしている。

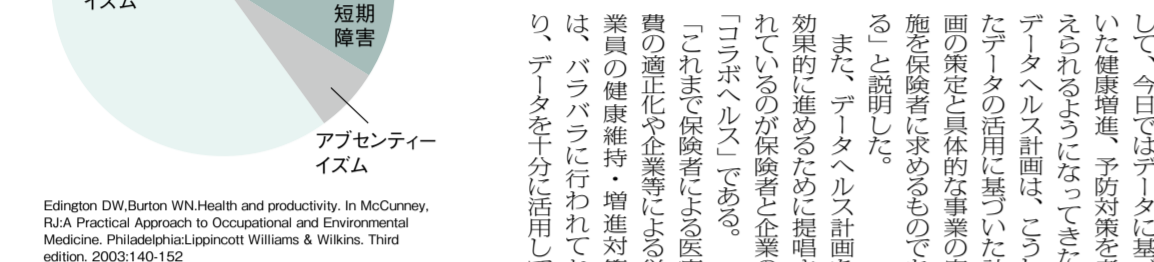
シンポジウムでは、主催者ら、「医療費・薬剤費がかなり増加している。このままでは、国の財政が持続不可能になる」と指摘し、健康経営の推進が喫緊の課題であるとしている。また、データヘルス計画を推進する上で、健康経営の推進が重要な役割を果たしていることを指摘し、健康経営の推進が喫緊の課題であるとしている。

シンポジウムでは、主催者ら、「医療費・薬剤費がかなり増加している。このままでは、国の財政が持続不可能になる」と指摘し、健康経営の推進が喫緊の課題であるとしている。また、データヘルス計画を推進する上で、健康経営の推進が重要な役割を果たしていることを指摘し、健康経営の推進が喫緊の課題であるとしている。

シンポジウムでは、主催者ら、「医療費・薬剤費がかなり増加している。このままでは、国の財政が持続不可能になる」と指摘し、健康経営の推進が喫緊の課題であるとしている。また、データヘルス計画を推進する上で、健康経営の推進が重要な役割を果たしていることを指摘し、健康経営の推進が喫緊の課題であるとしている。

「このうち、最初に講演した研究ユニットの尾形裕也特任教授は、「近年、欧米では、医療費を単なるコストではなく、人的資本への投資と考えるようになってきている。健康と生産性の両方を同時にマシメントして」のことが健康経営である」として、「政府が進める日本再興戦略には、3つのアクションプランがあり、健康経営は、その中の戦略市場創造プランの一環として位置づけられている」と述べた。

尾形特任教授は続けて、米国の商工会議所が示している「従業員健康関連コストの構造」(図)を紹介しながら



「このうち、最初に講演した研究ユニットの尾形裕也特任教授は、「近年、欧米では、医療費を単なるコストではなく、人的資本への投資と考えるようになってきている。健康と生産性の両方を同時にマシメントして」のことが健康経営である」として、「政府が進める日本再興戦略には、3つのアクションプランがあり、健康経営は、その中の戦略市場創造プランの一環として位置づけられている」と述べた。

「このうち、最初に講演した研究ユニットの尾形裕也特任教授は、「近年、欧米では、医療費を単なるコストではなく、人的資本への投資と考えるようになってきている。健康と生産性の両方を同時にマシメントして」のことが健康経営である」として、「政府が進める日本再興戦略には、3つのアクションプランがあり、健康経営は、その中の戦略市場創造プランの一環として位置づけられている」と述べた。

「このうち、最初に講演した研究ユニットの尾形裕也特任教授は、「近年、欧米では、医療費を単なるコストではなく、人的資本への投資と考えるようになってきている。健康と生産性の両方を同時にマシメントして」のことが健康経営である」として、「政府が進める日本再興戦略には、3つのアクションプランがあり、健康経営は、その中の戦略市場創造プランの一環として位置づけられている」と述べた。

「このうち、最初に講演した研究ユニットの尾形裕也特任教授は、「近年、欧米では、医療費を単なるコストではなく、人的資本への投資と考えるようになってきている。健康と生産性の両方を同時にマシメントして」のことが健康経営である」として、「政府が進める日本再興戦略には、3つのアクションプランがあり、健康経営は、その中の戦略市場創造プランの一環として位置づけられている」と述べた。



お腹に力を入れる、つま先で地面を押し出すようにする

表 戸田さんの食事記録

朝食	食パン(1枚)、ハムエッグ、野菜サラダ(各1皿)、みかん(4個)
昼食	ごはん(200g・1杯)、みそ汁(1杯)、豚肉さつと千切りキャベツ(1人前)
夕食	ごはん(200g・1杯)、餃子、レバニラ炒め(各1皿)、みかん(4個)

「去年せっかくアドバンスしてもらったのに、太ったままですよ」と笑顔で部屋に入ってきた戸田さん。すでに定年退職後の仕事や生活の変化について聞いてみました。

再雇用後は、後輩たちに現場を任せ、残業もほとんどなくなり、付き合いで飲む機会も減ったので、早く帰宅できるようになったそうです。

「第一線から退いて、後輩のバックアップをしています。これはこれで楽しくて、やりがいも感じています。まだまだ動きたいから健康でいたい、前回の相談で言われたことを全部はできなかったけど、やっていることもありますよ。でもなかなか体重は減らないね」とほがしに話しています。

「服薬してはいらいいい?」

人間は血管と共に老いると言われます。定年後も生き生き元気に過ごすためには、血管を丈夫に保つように心がけることが大切です。

戸田さんは高血圧がありますが、血圧が高いと血管には常に高い圧力がかかるために傷みやすくなります。

そのための生活習慣の改善は、たまたま血圧が下がらない場合は、薬を使ってコントロールします。

「前回の相談では戸田さん、食事内容についてあまり意識していない様子で、妻が健康を気に通って、減塩のみやしょうゆを使って食事を作っていた。そこで、話してあげてもいいポイントがきちんと伝わっているという良好な結果が得られた。また、集団指導に参加した受診者は、今回のような企画のある人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「前回の相談では戸田さん、食事内容についてあまり意識していない様子で、妻が健康を気に通って、減塩のみやしょうゆを使って食事を作っていた。そこで、話してあげてもいいポイントがきちんと伝わっているという良好な結果が得られた。また、集団指導に参加した受診者は、今回のような企画のある人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「前回の相談では戸田さん、食事内容についてあまり意識していない様子で、妻が健康を気に通って、減塩のみやしょうゆを使って食事を作っていた。そこで、話してあげてもいいポイントがきちんと伝わっているという良好な結果が得られた。また、集団指導に参加した受診者は、今回のような企画のある人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「前回の相談では戸田さん、食事内容についてあまり意識していない様子で、妻が健康を気に通って、減塩のみやしょうゆを使って食事を作っていた。そこで、話してあげてもいいポイントがきちんと伝わっているという良好な結果が得られた。また、集団指導に参加した受診者は、今回のような企画のある人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

健康づくり・健康増進を支援するページ

健康相談 ビフォー・アフター 16

定年後の生活に合った肥満・高血圧対策を

プロフィール 昨年定年を迎え、再雇用者として働いている戸田さん(仮名)。現役の頃と比べて時間に余裕ができた。この1年で生活のリズムが変わってきた。もともと肥満と高血圧がありましたが、今年の健康診断でも体重は減って、BMIは26.5でした。

前回のあらかし 1年前の健康診断後の保健相談では、同世代の身近な人たちに生活習慣病を抱えている人が増えたこともあり、「生活改善に少しずつ取り組んでみようかな」と話していました。高血圧については内服をし、血圧をまずまず良好にコントロールしていました。そこで、栄養相談では「ごはんのおかわりをやめる」、運動相談では「スポーツジムに通う」ことを目標としました。

戸田さん 61歳 男性

「前回の相談では定年直前だったことが、戸田さんは話します。平日のジム通いは、この機会にスポーツジムを生活リズムに組み込みたいと入会することを話し、具体的な目標を設定しました。高血圧の治療で医師から運動をすすめられたものの、なかなか体を動かす機会がなかった。そこで、歩幅をひろげて歩く「大ま歩き」ジムでの運動に意欲が高まった。そこで、平日のジム通いの代わりに、身体活動量をアップさせることを目標としました。高血圧や体重のコントロールができるように、運動強度のアップだけでなく、転倒予防にもつながります。

「大ま歩き」は、股関節の動きをゆるやかに、可動域を広げる効果があるため、運動強度のアップだけでなく、転倒予防にもつながります。

50・60代になると転倒事故の割合が多くなるといって、製造業での報告を伝えると、身体活動量を増やすことだけでなく、転倒の予防にも関心を持った様子でした。

「動き方の変化に合った運動スタイル」

戸田さんは「外出が多かった営業時代に比べて、今



健康相談の様子

「去年せっかくアドバンスしてもらったのに、太ったままですよ」と笑顔で部屋に入ってきた戸田さん。すでに定年退職後の仕事や生活の変化について聞いてみました。

再雇用後は、後輩たちに現場を任せ、残業もほとんどなくなり、付き合いで飲む機会も減ったので、早く帰宅できるようになったそうです。

「第一線から退いて、後輩のバックアップをしています。これはこれで楽しくて、やりがいも感じています。まだまだ動きたいから健康でいたい、前回の相談で言われたことを全部はできなかったけど、やっていることもありますよ。でもなかなか体重は減らないね」とほがしに話しています。

「服薬してはいらいいい?」

人間は血管と共に老いると言われます。定年後も生き生き元気に過ごすためには、血管を丈夫に保つように心がけることが大切です。

戸田さんは高血圧がありますが、血圧が高いと血管には常に高い圧力がかかるために傷みやすくなります。

そのための生活習慣の改善は、たまたま血圧が下がらない場合は、薬を使ってコントロールします。

「前回の相談では戸田さん、食事内容についてあまり意識していない様子で、妻が健康を気に通って、減塩のみやしょうゆを使って食事を作っていた。そこで、話してあげてもいいポイントがきちんと伝わっているという良好な結果が得られた。また、集団指導に参加した受診者は、今回のような企画のある人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。

「前回の相談では戸田さん、食事内容についてあまり意識していない様子で、妻が健康を気に通って、減塩のみやしょうゆを使って食事を作っていた。そこで、話してあげてもいいポイントがきちんと伝わっているという良好な結果が得られた。また、集団指導に参加した受診者は、今回のような企画のある人間ドックを受けた」と回答した人の割合が、参加群では84.7%という結果が得られている。



健康相談の様子

糖尿病治療の第一人者である順天堂大学医学部の河盛隆造特任教授が、最新の知見を基に、日常生活の中で高血糖

今すぐできる！ 血糖値を下げる 40のルール

河盛隆造 / 監修



「高血糖を防ぐ！特効ルー ル40」パート3「糖尿病つ どいかな病気？」の3部構成 で、パート1と3では、高血 糖を放置するとどうなるか、 糖尿病はどういう病気なのか が明快に解説されている。 さまざまな健康情報がつま り、たにあふれかえ る。そんな名医がすすめる最新 の予防法が詰まった本書は、 あって一利なり、血糖値改善の指導に当た る人にも参考にしていただき たい一冊だ。 (学研パブリッシング、A5 版、1,000円＋税)

新刊紹介

を改善するコツをわかりやす く伝授しているのが本書だ。 パート1「血糖値の気にな る！ 疑問Q&A」、パート2 「高血糖を防ぐ！ 特効ルー ル40」、パート3「糖尿病つ どいかな病気？」の3部構成 で、パート1と3では、高血 糖を放置するとどうなるか、 糖尿病はどういう病気なのか が明快に解説されている。 さまざまな健康情報がつま り、たにあふれかえ る。そんな名医がすすめる最新 の予防法が詰まった本書は、 あって一利なり、血糖値改善の指導に当た る人にも参考にしていただき たい一冊だ。 (学研パブリッシング、A5 版、1,000円＋税)

Let's Join!

あなたに知ってほしい

乳がん検診の大切さ

ピンクリボン in 東京2014



本会の検診車の前でポーズをとる東尾氏と東京都の乳がん検診普及啓発事業の公式キャラクター PostPet の「モモ妹」



マンモグラフィ装置に触れながら、本会放射線技師の説明を聞く東尾氏

乳がんは、女性が罹るがんの女性の、がんによる死亡数の中で最も多く、働きざかりの第1位でもある。乳がんは、女性が罹るがんの女性の、がんによる死亡数の中で最も多く、働きざかりの第1位でもある。乳がんは、女性が罹るがんの女性の、がんによる死亡数の中で最も多く、働きざかりの第1位でもある。

受診率の向上を目指して 検診車の見学やトークショー

乳がん月間の10月。乳がんの早期発見、早期治療の重要性を呼びかけるピンクリボンキャンペーンが全国各地で開催された。このうち、東京都では10月1日、江東区のアーバンドックらぽーと豊洲を会場に「ピンクリボン in 東京2014」(主催・東京都福祉保健局)のオープンイベントが開催された。

「東京では毎年10月を乳がん月間として、乳がんの早期発見、早期治療の大切さを知らせてもらうためにピンクリボン運動を展開しており、今年でちょうど10年目を迎える。この間、多くの企業や団体、市町村に協力いただき、ピンクリボンの取り組みが広がってきた」と述べた。

「より多くの乳がん検診の受診率を30%以上高め、目標とする50%には達していない。」「より多くの乳がん検診の受診率を30%以上高め、目標とする50%には達していない。」「より多くの乳がん検診の受診率を30%以上高め、目標とする50%には達していない。」

「生活習慣病予防に役立つ睡眠面からの保健指導」をテーマに、候群を中心に」をテーマに、順天堂大学大学院医学研究科の谷川武教授が講演を行う。司会は健康管理コンサルタントセンターの齋崎誠幹事長。参加費2,000円。定員先着400人。

「生活習慣病予防に役立つ睡眠面からの保健指導」をテーマに、候群を中心に」をテーマに、順天堂大学大学院医学研究科の谷川武教授が講演を行う。司会は健康管理コンサルタントセンターの齋崎誠幹事長。参加費2,000円。定員先着400人。

もかわら ず、東京都の 乳がん検診の 受診率は30% 台と低く、目 標とする50% には達してい ない。 菅井部長は、 「より多くの 人に、乳がん 検診の大切さ について理解 いただき、40 歳になったら 2年に1度は 必ず乳がん検診を受けて欲しい」と訴えた。

本会も協力団体としてマンモグラフィ検診車の見学ツアーを担当した。 また、らぽーと豊洲の造船用クレーンをピンク色にライトアップしたり、ピンクリボンパネル展を開催するなど の取り組みも行われた。



お知らせ

第259回ヘルスケア研修会
生活習慣病予防に役立つ睡眠面からの保健指導
1月28日(水) 14:16時
東京・千代田区「星陵会館」

第259回ヘルスケア研修会
生活習慣病予防に役立つ睡眠面からの保健指導
1月28日(水) 14:16時
東京・千代田区「星陵会館」

11 予防医学 相談室より

健康診断や人間ドックの結果、eGFR(推算糸球体ろ過量)という項目があまり目につく。eGFRは腎機能を示す指標で、年齢と性別、血清クレアチニン値から算出されます。値が低いほど腎臓の働きが低下していることを示し、100未満点中の何点かというよう、おおよその目安となります。 本会の健康結果では、日本人間ドック学会の判定基準に準じ、eGFR値が60以下の場合には「要生活注意」として、塩分を控え、水分を多めに摂るよう指導して います。 eGFR値50以下では「要受診」として、本会の保健会館クリニックをはじめ、めとする腎臓内科に一度受

第244回学校保健セミナー
現代のいじめの現状と課題
2月6日(金) 15:17時
東京・新宿区「ランドビル市ヶ谷」で開かれる。

血管機能検査の新時代

VaSera

VS-3000シリーズ
医療機器認証番号：224ADBZ00086000

血管機能検査の新時代

CAVI Cardio Ankle Vascular Index (心臓足首血管指数)

● 動脈の硬さの評価
CAVIは大動脈を含む「心臓から足首」までの動脈硬化度を反映する指標で、動脈硬化が進行するほど高い値となります。また、測定時の血圧に依存しない、血管固有の硬さを評価します。

ABI Ankle Brachial Pressure Index (下肢動脈の狭窄、閉塞)

● 末梢動脈疾患(PAD)の鑑別診断・重症度判定
ABIは、下肢動脈の狭窄・閉塞を評価する指標です。PADは、心血管疾患、脳血管疾患など、他臓器障害との合併が多く見られることから、早期発見が重要とされています。

NEW